

事業所名

放課後等デイサービス めぐみ

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

2 月

1 日

法人 (事業所) 理念		私たちはキリスト教精神に基づき 聖書に示された愛と奉仕の実践を通じて 社会福祉の向上に貢献します。						
支援方針		1. こども達一人ひとりの個性を大切に、豊かな育ちを支えます。 2. こどもと保護者に寄り添い、成長を喜び合うことの出来る施設を目指します。 3. こども達の笑顔と未来のために、地域に愛される施設を目指します。						
営業時間		9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・利用時に検温を行い、合わせて表情や行動の様子を観察し、心身の状態を確認する。必要に応じて病院受診や休息など対応方法を柔軟に提案する。 ・保護者からの聞き取りや利用時の様子を基に個々に合った関りの工夫(環境調整や視覚支援グッズの使用)を提案する。 ・生活の基本動作の獲得に向けて、個々の成長に合わせた支援(身体介助、手順の視覚化、スモールステップでの獲得など)をする。 ・タイムタイマーの活用や写真やイラスト(文字)のスケジュール提示などで、見通しをもって過ごせるように支援する。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して、体の各部を動かしたり、様々な感覚を十分活用し、身体機能の向上を図る。 ・おもちゃ遊びや課題グッズなどを通して、指先を使う練習を行い、巧性の向上を図る。 ・感覚の過敏性などを把握し、個々の様子に応じ苦手な感覚への対応方法を検討し、提案する。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・今、何をすべきか、ルールや約束事をイラストなどで示し、その場に合った行動がとれるようにする。 ・大小、色、数量などの認識ができるような遊びを通して、概念形成の習得を支援する。 ・個々の興味関心、得意不得意を把握し、各々の目標に適した課題に取り組み達成感を味わえるようにする。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉以外のコミュニケーション手段(身振り、イラストカード、サイン等)を用いて、自分の思いを相手に伝えることができるよう支援する。 ・イラストや文字など、視覚的な物を添えて伝え、話や指示の意図がわかるようにする。 ・こども同士と一緒に遊びながら過ごす中で、相手とのやりとりの練習を繰り返し、コミュニケーション能力の向上を支援する。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちの表出方法や気持ちのコントロールの仕方をイラストなどを用いて知らせたり、環境を工夫したりし、落ち着いて過ごせるようにする。 ・社会生活において、必要なマナーや行いについて、視覚支援を用いて具体的に知らせ、社会性を育む。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングや送迎時に、日々の家庭生活の様子や当事業所での活動の様子を共有し、個々の様子や家庭に適した環境整理、育児方法などを助言する。 ・「茶話会」を通じて、保護者同士の情報共有の場として交流の場を提供する。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所での支援情報等を小学校に情報提供する。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・在籍校との電話連絡や訪問、勉強会を通して連携を図る。 ・市の関係課や他の放課後等デイサービス事業所と連絡会を通じて、利用児の環境や成育状態を情報共有する。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・日々のミーティングを通じて、支援方法を振り返り、必要に応じてスーパーバイズを行い、支援スキルの向上を図る。 ・外部研修に参加し、支援スキルの向上を図る。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・第三王曜日を基本に「書道」や「野菜作り」等のイベントを実施 						